

北秋田市民病院が開院

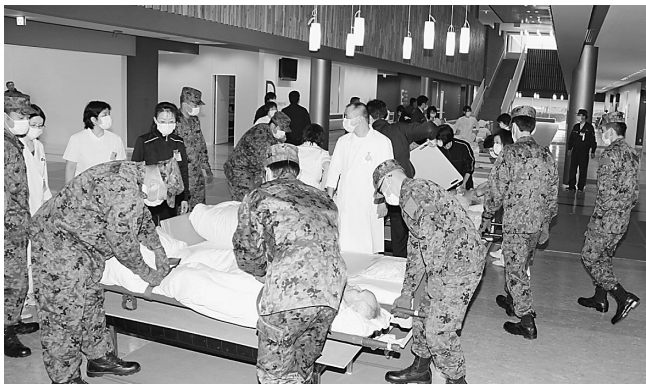
アクセスバス運行・外来診療も始まる

北秋田市民病院（神谷彰院長）は、市が開設し、県厚生連が運営する県内初の「公設民営方式」が導入され、4月1日に下杉字上清水沢に開院しました。開院日には、旧北秋中央病院から入院患者の移送を行いました。また、5日から各診療科の外来診療も始まり、たくさんの方が新しい病院で診療を受けました。



自衛隊の協力を受けて入院患者を移送

北秋田市民病院開院に伴う北秋中央病院から市民病院への入院患者輸送が4月1日行われ、患者77人が自衛隊車両と市消防本部の救急車で市民病院に移送しました。市では、北秋中央病院の機能を市民病院に移すため、患者輸送について陸上自衛隊第9師団（林一也師団長）に協力を求めたところ理解を得て3月19日、協力協定を締結しこの日の輸送業務となったものです。師団側は輸送支援隊約60名を派遣し、救急車6台ほか小型トラック5台、マイクロバス2台の車両をピストン運行させ輸送業務にあたりました。また、消防本部は高規格救急車2台を出動させました。



新病院で自衛隊員から患者を引き受ける病院職員ら

病院前で行われた開始式では神谷院長が自衛隊員の協力にあらためて感謝し、午前8時から輸送作業が始まりました。旧病院では、病院スタッフが玄関ホールまでベッドを移動させ、比較的軽度の患者は自衛隊が高規格救急車の機能が必要な重度の患者は消防本部が担当。隊員がベッドから担架に患者を移し、横になつたまま4人が乗車できる車両で移送しました。新病院で患者を受けた病院職員らは、患者に「新しい病院に着きましたよ。安心してください」などと優しく声をかけながら、真新しいベッドに移し替えて病室に移動しました。



窓口で説明を受けて、手続きをする患者ら

この日から、外来診療が開始された新病院では、正面玄関や案内所などに、病院職員が配置され、初めて病院を訪れた患者らに、受付の方法などを丁寧に説明し、適所に誘導していました。診療までの手続きは、旧北秋中央病院の診療科で診療を受けていた方は、従来の診療券を再来受付機に挿入して受付手続きを行い、番号札を受け取り、診療待合に進みます。そのほかの方は、新患者受付の窓口で手続きを行い診療待合に進みます。

5日から始まった
外来診療

各診療待合前には、診療を受けることのできる番号が表示される大画面のテレビが設置されています。ご自身の番号が表示されましたら、看護師らの指示に従い診療を受けます。



診療科ごとに診察順の番号が表示される画面

病院には便利な公共交通機関で

秋田内陸縦貫鉄道との連携及び市民病院へのアクセスを向上させるためのバス・乗合タクシー実証運行が、4月1日から始まりました。路線バスの実証運行は、米内沢駅アクセス「市民病院・米内沢線」を運行します。市役所森吉庁舎を始発



市民病院前で「市民病院・米内沢線」の実証運行バスから降車する利用者

とし、内陸線米内沢駅などを経由し北秋田市民病院と内陸線大野台駅までを運行します。期間は4月1日から9月30日です。乗合タクシーの実証運行は、合川駅アクセス「市民病院・増沢線」、小淵駅アクセス「小淵駅・三枚線」、阿仁合駅アクセス「阿仁合駅・吉田線」の3路線を運行し、期間は4月1日から5月1日でした。あわせて、既存路線バス・合川線も市民病院へのアクセス向上のためルート変更・運行回数の増便を行います。合川線は、鷹巣から内陸線大野台駅や北秋田市民病院、内陸線合川駅などを經由し、杉山田とその先の沖田面までを運行します。実証運行の期間中に得られたデータは、今後本格運行を目指すうえで大切な資料となります。

81年の地域医療の歴史に幕

北秋中央病院で閉院式

J A秋田厚生連が経営する北秋中央病院（神谷彰院長）の閉院式が3月31日、同病院で行われ、創設以来81年間地域医療に貢献してきた歴史に幕を下ろしました。閉院は、J A秋田厚生連が4月1日開院する北秋田市民病院の指定管理者となることから、北秋中央病院の医師、看護師をはじめ医療機器などの医療機能を市民病院に引き継ぎ、移転することに伴うもので、外来診療は30日で終了しました。

北秋中央病院は、明治22年に鷹巣村外五力町村立組合公立病院として設立された鷹巣病院が前身。同45年



閉院式で職員らにあいさつする神谷院長

閉院式では、神谷院長が医師、看護師、事務職員など約70人のスタッフの前で、「これまで病院が続いてきたのは行政や議会ほか関係者の誰もがこの地域から中核となる病院をなくしたくない、という強い気持ちがあったから。この間、住民に信頼されてきた私たちの医療や、人材育成にも貢献できたことは誇りでもある。医療業務は非常に過酷で仕事でのあれきもあつただろう。でも新病院を前にしては小さな思い出。市民病院の芽を大きく開花させることを誓いましょう」とあいさつしました。